

**製品名: SRp20 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18276**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	25kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SRSF3
別名	SRSF3; SFRS3; SRP20; Serine/arginine-rich splicing factor 3; Pre-mRNA-splicing factor SRP20; Splicing factor; arginine/serine-rich 3
遺伝子 ID	6428.0
SwissProt ID	P84103
免疫原	抗血清はヒト SFRS3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

**背景**

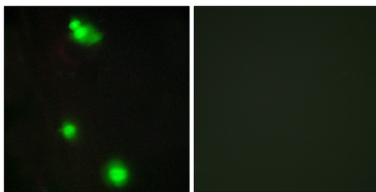
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン / アルギニン (SR) に富む pre-mRNA スプライシング因子ファミリーの一員

であり、スプライソソームの一部を構成し、RNA 認識モチーフ (RRM) と他のタンパク質との結合に用いられる RS ドメインを含む。RS ドメインはセリンおよびアルギニン残基に富み、異なる SR スプライシング因子間の相互作用を促進する。SR タンパク質は mRNA スプライシングに重要であるだけでなく、mRNA の核外輸送や翻訳にも関与することが示唆されている。この遺伝子には、タンパク質コード型と非コード型の 2 つの転写バリエーションが見つかっている。 [RefSeq 提供、2010 年 9 月],機能:細胞の増殖や成熟に関連する RNA プロセッシングに関与している可能性があります。 ,PTM:RS ドメインのセリン残基が広範囲にリン酸化されています。 ,類似性:スプライシング因子 SR ファミリーに属します。 ,類似性:1 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含みます。 ,サブユニット:CPSF6、RBM1A1、SRSF12 と相互作用します。 ,

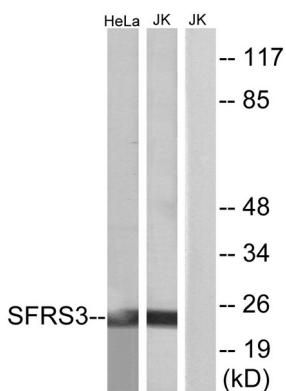
## 研究分野

スプライソソーム;

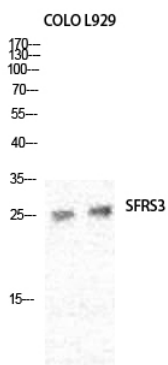
## 画像データ



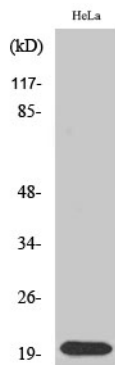
SFRS3 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



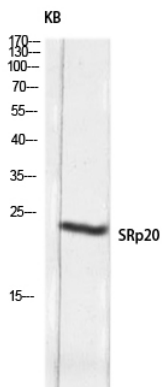
SFRS3 抗体を用いた HeLa 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



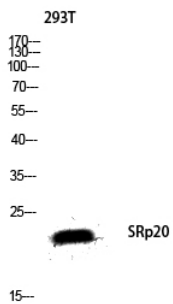
1: 2000 に希釈した SRp20 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット解析。



1: 2000 に希釈した SRp20 ポリクローナル抗体を使用した Jurkat 細胞のウェスタンブロット分析。



SRp20 抗体を用いた KB 溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。



SRp20 抗体を用いた 293T 溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。